

令和6年度 茨城支部保険者機能強化予算の執行状況について



1. 令和6年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
医療費適正化予算	企画部門	ジェネリック医薬品使用割合等の薬局向け情報提供サービスの外部委託	531,080	193,950	36.5%	- 医療機関・薬局にジェネリック医薬品使用割合を把握してもらい、後発医薬品使用促進を図ることを目的に、医療機関・薬局ごとの後発医薬品使用割合等を記載した個別の通知（見える化ツール）を各医療機関・薬局に作成し送付。 - 県内の医療機関682件、保険薬局1,233件に送付。
		お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	1,287,000	730,400	56.8%	茨城県薬剤師会と連名で「ジェネリック医薬品を希望します」と明示したお薬手帳カバーを10,000部作成し、使用割合が低迷している日立・鹿行・土浦医療圏の薬局に協力依頼を行い、128薬局に配布。
	業務部門	—	—	—	—	—
	合計		1,819,000	924,350	50.8%	

1. 令和6年度 茨城支部医療費適正化等予算について

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
広報・意見発信	紙媒体による広報	納入告知書同封チラシ作成	1,524,600	1,607,533	105.4%	● 全事業所へ協会けんぽの取組内容の広報や制度周知を行った。（毎月）
		算定基礎事務説明会資料作成	110,000	168,960	153.6%	● 算定基礎届事務説明会で参加事業所に協会けんぽや健康保険制度の周知を図った。
		合計	1,635,000	1,776,493	108.7%	
	その他の広報	適正受診にかかるSNS等の媒体を活用した広報	2,244,000	2,200,000	98.0%	● 医療機関等への適正受診を促進するためのイラスト動画CM（30秒）を制作し、その動画をYouTube及びT v erで展開した。子ども・おとな救急電話相談の周知と、緊急性がない場合は、かかりつけ医を受診するような啓発を行い、救急医療機関の受診抑制を図った。
		乳児世帯向け上手な医療のかかり方リーフレット配布	2,343,000	1,945,482	83.0%	● 茨城支部の被保険者で新生児が生まれた方に対し、乳幼児の育児と医療情報に関する専門冊子を送付。（毎月）
		各種メディアを活用した広報	1,804,000	834,800	46.3%	● 保険料率等広報の実施（茨城新聞、商工会議所会報、茨城県広報誌「ひばり」、「中小企業いばらき」、「茨城商工だより」、「茨城経協」）
		ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報展開	4,921,400	3,918,200	79.6%	● ジェネリック医薬品使用促進の動画を活用したYouTube・T v er広告、飲食店スロー待合室デジタルサイネージ広告を展開。（8月、2月） ● つくばエクスプレス窓上ポスター、茨城交通バス車内広告ポスター（県と健保連と水戸市の連名）
		合計	11,312,400	8,898,482	78.7%	
	総計		14,767,000	11,599,325	78.5%	

2. 令和6年度 茨城支部保健事業予算（健診）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
健診経費	集団健診	県内全市町村にて未受診者（受診漏れ者）健診の実施	4,488,000	2,297,295	51.2%	● 県内3機関と勸奨業務に係る委託契約を締結（健診は集合契約で実施）し、9月～3月にかけて、全44市町村のうち39市町村延べ43,264人に受診勧奨通知を送付
		協会独自の集団健診実施	4,642,000	1,564,877	33.7%	● 40歳以上75歳未満の特定健診未受診の被扶養者22,282名に受診案内を送付し1,347名が受診、そのうち特定保健指導の対象となった者に対し初回面談を58件実施。
	事業者健診結果データ取得	健診受診勧奨及び事業者健診結果データ取得勸奨業務	10,230,000	6,606,853	64.6%	● 前年度の生活習慣病予防健診実施率が低く、事業者健診の提供がない10,000事業所に対し、外部委託事業者から文書・電話で受診勧奨・事業者健診結果の提供の勸奨を実施。 ● 例年5,000社に対して送付していたが、10,000社に拡大した結果、約1.5倍の健診結果データを取得することができた。
	健診推進経費	健診推進経費	8,025,000	13,414,885	167.2%	● 生活習慣病予防健診の受診者数、事業者健診データ取得数が目標値を超えた場合の健診機関への報奨金として、それぞれ73機関10,767件、24機関4,081件を対象に支払。 【事業者健診結果データ取得や健診受診勧奨等経費内で調整】
	健診受診勧奨等経費	生活習慣病予防健診機関による受診勧奨	116,000	0	0%	● 生活習慣病予防健診7機関との間に、受診勧奨に係る業務委託契約（無償）を締結。健診機関が、独自の案内リーフレット等を使用して受診勧奨を行ったため予算執行なし。
		健診・保健指導の受診率向上に向けた漫画リーフレット	3,740,000	0	0%	● 昨年度作成した令和6年度生活習慣病予防健診及び特定健康診査の健診内容等を掲載した既存の漫画リーフレットの使用が見込めたため、予算執行なし。
		生活習慣病予防健診予約状況照会サービス	264,000	264,000	100%	● 支部HPからリンクする形で、各健診機関の予約の空き状況が確認できる「生活習慣病予防健診予約状況照会サービス」を実施。昨年からアクセス数が減少しており健診機関の利用拡大が課題。
		「健診受け方ガイド」（特定健診実施機関一覧）作成	517,000	0	0%	● 特定健診受診券の年次発送に合わせて作成したパンフレットに同ガイドの要素を溶け込ませることとしたため、予算執行なし。
		ラッピングバス広告	786,600	786,600	100%	● 生活習慣病予防健診受診勧奨とジェネリック医薬品使用促進のラッピングバス広告を実施。水戸駅を中心にメイン通りを走行する路線バスは、加入者の目につきやすく、訴求力向上を図った。
		ラジオ・広報誌の広告	2,345,970	4,300,780	183.3%	● 健診、保健指導、インセンティブ制度等を内容に茨城放送でラジオCM、生出演等を実施。 ● 健診受診勧奨や健康経営等について、新聞各紙やタブロイド紙（「よみうりタウンニュース」）で広告を掲出。 【健診受診勧奨等経費内で調整】
	合計		35,155,000	29,235,290	83.2%	

２．令和６年度 茨城支部保健事業予算（保健指導・重症化予防）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
保健指導経費		中間評価時の血液検査費等の保健指導事務経費	4,054,900	2,143,874	52.9%	● 中間評価時の血液検査費 ● 保健指導用事務用品費 ● 保健指導用データ送料等
		保健指導推進経費	627,000	299,310	47.7%	● 特定保健指導終了者が前年度実績を超えた場合等に報奨金を支払うもので、令和６年度は３機関に対し執行。
		職員の事業所訪問による健診受診等勧奨	88,000	0	0%	● 健診の受診勧奨等が必要な事業所を選定の上、職員が直接訪問し、生活習慣病予防健診・特定保健指導・健康宣言など総合的な案内を行う際に、既存の資料を使用したため、予算執行なし。
		共同利用周知チラシの作成	770,550	960,300	124.6%	● 保健指導にあたり事業所にお知らせする個人情報の利用に関する理解促進のため、「共同利用周知チラシ（健診受診者用）」を作成し、生活習慣病予防健診実施機関へ配布。【保健指導利用勧奨経費内で調整】
		検診車における特定保健指導遠隔面談分割実施	220,000	0	0%	● 事業者健診を検診車で実施している健診機関や集団健診を検診車で実施している健診機関と協力し、健診会場で、健診当日の保健指導を遠隔面談で分割実施する。検診車を有する健診機関に本事業への参画を打診するも不調に終わったため。
		保健指導未利用者に対する生活改善・保健指導受入促進	4,897,200	3,795,000	77.5%	● 特定保健指導対象者のうち、同指導の効果がより顕在化しやすい動機付け支援に該当する者を対象として、生活改善のメリットや特定保健指導の有用性を記載したリーフレットを送付する。
		合計	10,657,900	7,198,484	67.5%	

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
重症化予防事業経費		未治療者受診勧奨	7,854,000	3,566,609	45.4%	● 本部で実施する一次勧奨後、受診予定が確認できない者に対し、毎月外部委託により二次勧奨文書を送付。特に重症域にある者には電話勧奨も実施。 ● 実施件数：文書12,125件 電話勧奨1,540件
		重症化予防対策	2,552,000	0	0%	● 茨城県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って、同プログラムの基準に該当する対象者へ受診勧奨・保健指導を行う。従来の実施方法を見直す必要があり、実施には至らず。
		合計	10,406,000	3,566,609	34.3%	

2. 令和6年度 茨城支部保健事業予算（コラボヘルス、その他、特別枠）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	健康測定器貸出	3,581,600	4,191,000	117.0%	● 健康づくり推進事業所の特典として、健康測定機器（血管年齢計、骨健康度測定器、ストレス測定器、肌年齢測定器）を無料貸出（実施回数：191回）
		健康経営推進のための講師派遣	2,008,875	1,587,300	79.0%	● 健康づくり推進事業所の特典として、専門家による「出前健康づくり講座」を実施 ① 「健康セミナー」28回 ④ 「メンタルヘルスケア研修」16回 ② 「お口の健康教室」1回 ⑤ 「熱中症講座」31回 ③ 「お薬と健康教室」4回
		健康経営推進のための広報	3,173,500	1,237,123	39.0%	● 健康経営推進リーフレット改訂版を10,000部作成。健康経営事例集を5,000部作成。 ● 茨城新聞「いばらき健康経営推進特集」、「いばらき美味しいおDay特集」への広告掲載
	情報提供	事業所健康度診断カルテの送付	616,000	673,354	109.3%	● 健康リスク改善、健康づくり推進を図るため、健康づくり推進事業所の認定事業所等に対して、自事業所の健康度を把握できる事業所カルテを送付。（2,283社）
	合計		9,380,000	7,688,777	82.0%	

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
その他の経費	その他の保健事業	健康イベントへの参加	297,000	100,540	33.9%	● 水戸市共催のセミナー（原則水戸市在住・在勤者、定員150名）を開催した。基調講演を行った講師が総合診療が専門の医師であったことから、生活習慣病の予防と同時に、水戸市との連携・協力事項の1つでもある特定健診及びがん検診の受診を促した。協会けんぽからは健康づくり事業について説明、あわせて血管年齢測定会を実施。
		動画による保健事業広報	2,090,000	1,911,360	91.5%	● 健康づくりサイクルの重要性の周知、認知度、理解度向上のため、新聞広告とラジオ生出演やアナウンサーによる生CM、水戸駅前ビジョン広告を展開。
	合計		2,387,000	2,011,900	84.3%	
総計			65,994,000	48,979,486	74.2%	

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	実施状況および経費の調整等
特別枠		特定保健指導対象者に係る流入阻止事業	1,073,600	1,073,600	100.0%	● 37～39歳のメタボ予備軍（1,000名）を対象に生活習慣改善を促すリーフレットを送付し、将来的な特定保健指導対象者への流入を抑止する取組を実施。
総計			1,074,000	1,073,600	100.0%	

5